

与野南小だより

8・9月号 令和3年8月26日発行 第5号



【児童数】計292名

学校 Web ページ <http://yonominami-e.saitama-city.ed.jp/>

さいたま市立与野南小学校 電話831-0157 FAX831-0122

憧れ

校長 鈴木 晴雄

今日から2学期。子どもたちの笑顔と笑い声があふれてきます。夏休みの期間中、大きなけがや事故もなく過ごすことができましたこと、子どもたちの安全確保にご協力いただいた保護者や地域の皆様に感謝申し上げます。

今夏開催された東京2020オリンピック・パラリンピック。選手の皆さんの躍動が国境を越えて、私たちの心を動かししました。

体操男子では、橋本大輝選手が、個人総合と種目別鉄棒の2冠。男子団体銀メダル獲得後は、「代わりに僕が鉄棒で取って、航平さんの首にかけたい。最高に一番きれいな色を、最高に一番似合う人に」と述べました。その言葉は、内村航平選手への尊敬や憧れからくるのでしょうか。東京オリンピック代表選考会を兼ねて5月に開催された体操・NHK杯では、「内村航平さんのように頼りになる存在になりたい。世界一になる選手ならエースにふさわしい。」という言葉を残しています。

一方、種目別鉄棒で予選敗退した内村選手は、取材に対し、悔しさを押し殺しながら明るい声で「新しい世代のスターも生まれそうな。いや、生まれたかな、今日。僕はもう主役じゃない。僕が見せられる夢はここまでです。」「ここからは、あいつらがあいつらのシーンを紡いでいく。」と語りました。

5年前のリオデジャネイロオリンピック、まだ中学生だった橋本選手。背中を追い続けた内村選手から「体操ニッポン」を引き継ぐ瞬間。それは、憧れが覚悟に変わる瞬間にも見えました。

心の整理に戸惑いながらも後輩たちを気遣う内村選手。橋本選手にとって永遠の憧れの存在となるのでしょうか。

私たちの憧れの存在は、身近にいるのかもしれませんが。上級生、兄弟姉妹、家族。スポーツ選手、メダリスト、芸能人、漫画やドラマの主人公。我々が子どもの頃憧れていた存在は、いつも私たちの心の中にいて、弱い自分を励まし支え強く成長させてくれました。子どもの頃、私が見続けた戦隊ヒーロー。練習会場で待ち続けたサッカー日本代表選手、W杯で活躍した海外サッカー選手。学生時代の先輩、職場の先輩や上司。私の憧れの存在は、その時々目に現れ、叱咤激励してくれました。そして、夢や希望を与えてくれました。

子どもたちにとって一番身近な存在である私たち大人は、子どもたちの目に心にどんな存在として映っているのでしょうか。

私たちが、子どもたちの憧れの存在、憧れる大人になる日。いつの日か子どもたちの目に心に憧れとして映る日がくることを願って止みません。

我々は高みに憧れるが、歩き出すことには無関心だ。
山々を望みながら、平らな道を歩きたがる。(ゲーテ)



南っ子よ さあ、歩き出そう！高みを目指して。そして憧れを越えていけ！

2学期も引き続き、保護者・地域の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。